

U.S. Indicators

発表日:2023年8月31日(木)

米国 製造業の生産調整継続 (7月鉱工業生産)

～ヘッドラインの上振れほど実態は良くない～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年7月の鉱工業生産は、自動車やエネルギーの急増により前月比+1.0% (6月同▲0.8%) と市場予想の同+0.3% (筆者予想同+0.3%) を上回った (23年2月-23年6月合計0.3%下方修正)。製造業が自動車の急拡大によって前月比+0.5% (6月同▲0.5%) と市場予想の同0.0% (筆者予想同+0.3%) を上回った。また、高い気温による冷房需要の高まりを受け公益が前月比+5.4% (6月同▲3.0%) と急拡大したほか、鉱業が同+0.5% (6月同▲0.9%) と上昇に転じ、全体を押し上げた。

もともと、製造業生産は、市場予想を上回ったものの、23年2月-23年6月合計で0.6%下方修正されており、実態は市場想定よりも弱い。また、公益の急拡大も異常な暑さを受けたものであり、経済活動の活発化を示しているわけではない。このため、ヘッドラインの上振れほど、生産活動は強くないと判断される。生産活動の基調をみると、3ヶ月移動平均・3ヶ月前対比年率で、製造業が7月に▲0.8% (前月▲0.1%) とマイナス幅を拡大し、鉱工業が▲0.1% (前月0.0%) とマイナスに転じるなど、生産のモメンタムが失速した。

7月の鉱工業の設備稼働率は、生産能力の拡大が続く中、公益、製造業生産の増加によって、79.3% (前月78.6%) と高い水準に上昇した。一方、製造業稼働率は77.8% (前月77.5%) と小幅上昇したが、生産調整によって低下傾向にある。

業種別に前月比での生産動向をみると、縮小した業種は、縮小幅の大きい順に、電気設備・機器・同部品 (▲1.7%)、一次金属 (▲1.2%)、家具・同関連製品 (▲1.2%)、木材製品 (▲0.7%)、紙パ (▲0.7%)、その他耐久財 (▲0.6%)、加工金属 (▲0.4%)、プラスチック・ゴム (▲0.4%)、非鉄 (▲0.2%)、アパレル・皮革 (▲0.1%) の10業種と6月から変わらなかった。一方、前月比で拡大した業種は、拡大幅の大きい順に、自動車・同部品 (+5.2%)、繊維 (+3.1%)、一般機械 (+1.3%)、その他製造業 (+1.3%)、石油・石炭製品 (+1.1%)、コンピューター・電子 (+1.0%)、航空宇宙・その他輸送機器 (+0.6%)、印刷・同サポート (+0.2%)、化学 (+0.1%) の9業種 (6月9業種) となった。食品・飲料・タバコは前月比0.0%にとどまった。また、ハイテク部門は、前月比+1.5%と6ヵ月連続の拡大となり、底堅さを維持している。

前年比で拡大した業種は、コンピューター・電子、自動車・同部品、航空宇宙・その他輸送機器、石油・石炭製品、化学の5業種に限られた。

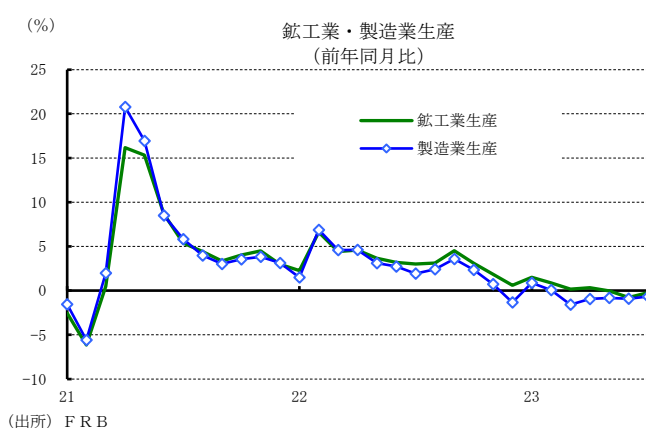
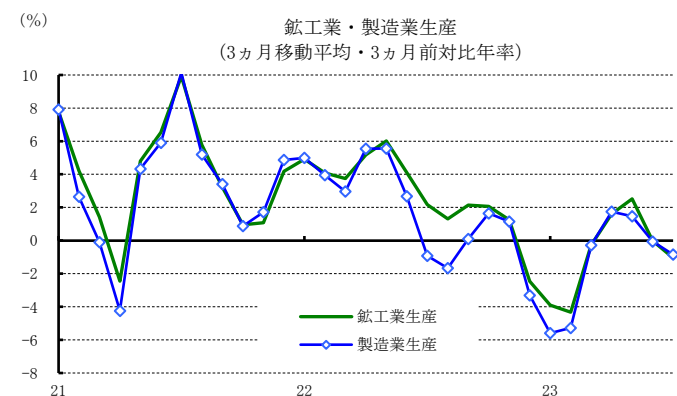
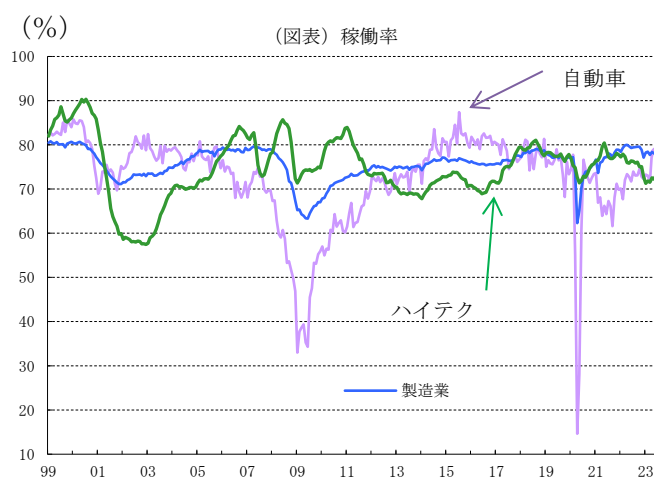
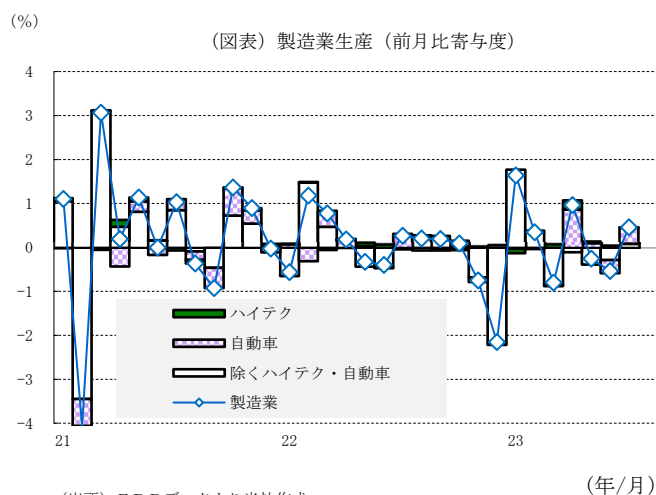
今後の製造業生産は、金融引締めや信用環境の引き締まりを受けた内外需要の減速のほか、景気後退への備え、コスト増、在庫調整を背景に、23年末にかけて調整を続ける公算が大きい。24年には、需要の底打ち、在庫調整の終了を背景に、生産の拡大ペースが徐々に速まると見込まれる。この結果、製造業生産は、23年に前年比▲0.5% (22年同+2.7%) と減少に転じるものの、24年には+0.8%と小幅ながら拡大すると予想される。また、鉱工業生産は、鉱業の増加にもかかわらず、製造業



の縮小や公益の減速によって、23年に前年比+0.2%（22年同+3.4%）と鈍化し、24年は製造業生産の拡大等を背景に、同+1.0%程度が見込まれる。

	鉱工業生産		製造業 (NAICS)						設備稼働率		生産能力
			製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	自動車 関連	全産業	製造業 (SIC)	
22/07	+0.4	(+3.0)	+0.2	+1.4	+0.2	+0.4	+0.3	+3.3	+80.7	+79.3	+0.1
22/08	+0.1	(+3.1)	+0.2	+0.2	▲0.8	+0.1	▲0.0	▲1.0	+80.7	+79.4	+0.1
22/09	+0.3	(+4.5)	+0.2	+1.2	▲1.0	+0.9	+0.1	+0.3	+80.8	+79.5	+0.1
22/10	▲0.1	(+3.1)	+0.1	+0.2	▲2.4	▲0.7	+0.2	+2.3	+80.6	+79.5	+0.1
22/11	▲0.3	(+1.9)	▲0.7	▲0.7	+3.4	+0.8	▲0.7	▲2.1	+80.3	+78.9	+0.1
22/12	▲1.5	(+0.6)	▲2.1	▲2.0	+3.2	▲2.4	▲2.0	▲0.5	+78.9	+77.1	+0.1
23/01	+1.0	(+1.5)	+1.7	+3.9	▲7.2	▲1.3	+2.0	+1.6	+79.6	+78.3	+0.1
23/02	+0.0	(+0.9)	+0.3	▲1.0	▲0.8	+1.6	+0.1	▲0.1	+79.5	+78.5	+0.1
23/03	+0.1	(+0.2)	▲0.8	+0.5	+6.2	+0.4	▲1.1	▲2.0	+79.5	+77.8	+0.1
23/04	+0.5	(+0.3)	+0.8	+0.9	▲2.3	+2.2	+0.9	+10.0	+79.8	+78.3	+0.1
23/05	▲0.4	(▲0.0)	▲0.3	▲0.7	▲0.7	+0.4	▲0.4	+0.8	+79.4	+78.0	+0.1
23/06	▲0.8	(▲0.8)	▲0.5	▲0.9	▲3.0	+2.1	▲0.6	▲3.9	+78.6	+77.5	+0.1
23/07	+1.0	(▲0.2)	+0.5	+0.5	+5.4	+1.5	+0.4	+5.2	+79.3	+77.8	+0.1

(注) カッコ内は前年比



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

